

豚化け美女

梗概 豚が女に化けて、モーアシビーにきた。また便所の前のおおいにね、毎日六錢ずつお金がおかれていたそう。その豚が遊んで、もらうお金は、三貫だったらしい。いつもお金がおかれていたので、この豚の主は、不思議に思っていた。夜、この豚がモーアシビーにいくと、男が、「遊びは楽しかったけど、糞のにおいがするねえ。」という、「雨が降りそうだからですよ。」といったそう。この豚は、ビロードの皮草履をはいて、パチパチとならして、モーアシビーに、いつもきたらしい。美しい女だったというけど、六錢ずついつももらって、便所のおおいの上においたので、それで サングワナーという。それから女の浮気者になると、女サングワナーというでしょう。今でも。

話者情報 1895（明治 28）年生まれ 男性

記録日 1982 年 9 月 26 日

分類 本格昔話